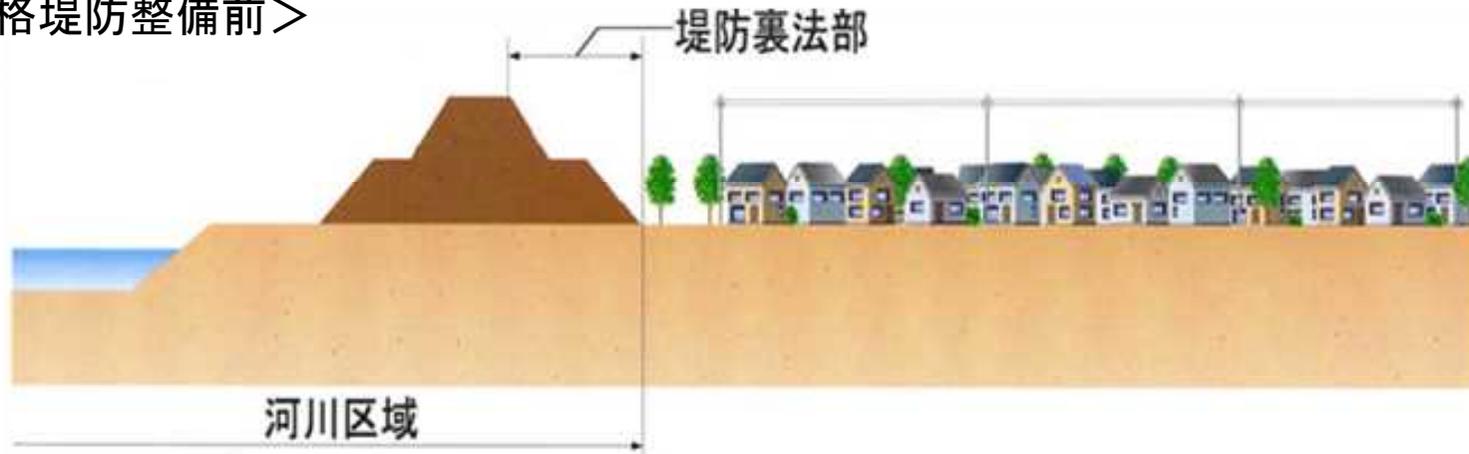


# 高規格堤防とは

# 高規格堤防

- 高規格堤防は、ふつうの堤防と比較して幅の広い堤防(堤防の高さの30倍程度)です。
- 市街地再開発や区画整理などのまちづくり等と共同で実施することで、安全で快適な空間を創出します。

<高規格堤防整備前>



<高規格堤防整備後>



# 高規格堤防の治水上の効果

- 超過洪水時において越水・侵食・浸透による堤防決壊を防ぐことで壊滅的な被害を回避することができます。
- 地震発生時にも、液状化による堤防の大規模な損傷を回避することができます。

## 越水

## 浸透

## 地震発生時

### ●ふつうの堤防



### ●ふつうの堤防



### ●ふつうの堤防



### ●高規格堤防



### ●高規格堤防



### ●高規格堤防



越水しても堤防上を緩やかに水を流すことで、堤防の決壊を防ぐ

水が浸透しても堤防幅を広くとることで、堤防斜面・内部の侵食による決壊を防ぐ

必要に応じ地盤改良を行い、強い地盤とすることで、地震発生時にも液状化による堤防の大規模な損傷を回避する。  
(あわせて液状化による市街地の壊滅的な被害を回避する)

# 高規格堤防の治水上の効果（一部区間や基本的な断面形状が完成しない場合）

- 氾濫区域の一部区間でも高規格堤防として整備することで、氾濫区域の堤防決壊リスクが低減します。
- 基本的な断面形状が完成していない場合でも、堤防の安全性は格段に向上します。

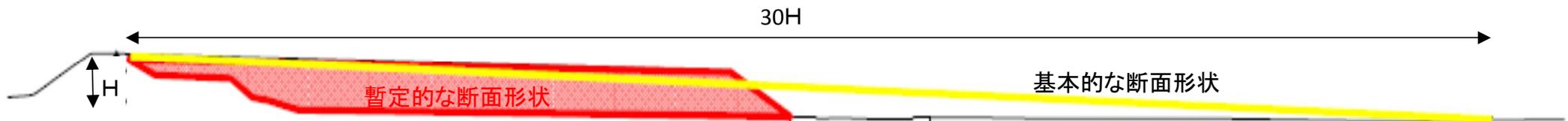
■ 高規格堤防整備前



■ 高規格堤防整備後



一部区間で高規格堤防を整備することで、氾濫区域の堤防決壊リスクが低減



基本的な断面形状が確保されていない場合にも堤防の安全性は格段に向上

# 避難場所、災害時の活動拠点としての機能を発揮

- 災害時には、周辺住民等の避難場所としての機能を発揮します。
- また、被災者の救助活動や、水や食料をはじめとする緊急物資の輸送・供給活動など、災害時の様々な活動の拠点としても活用が期待されています。

## 【小松川地区(江戸川区)の事例】



災害時には20万人の避難場所としての機能を発揮



救助活動や緊急物資の輸送・供給活動の拠点として活用も期待(イメージ)

# 良好な住環境の提供

○高規格堤防とまちづくり等を共同で行うことで、木造住宅密集地域・狭あい道路の解消等による良好な住環境を提供することができます。



まちづくりとあわせて、木造住宅密集地域と狭あい道路を解消（荒川・小松川地区）

# 良好な都市空間を形成

○高規格堤防とまちづくり等を共同で行うことで、都市景観が向上し、良好な都市空間を形成されます



高規格堤防とまちづくりを共同で実施し、景観、眺望等が向上(荒川・新田地区)